

SEIKO

置時計
取扱説明書
電波クロック

お買い上げありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよく
お読みの上、正しくご愛用くださ
いますようお願い申し上げます。
なお、この取扱説明書はお手元
に保存し、必要に応じてご覧ください。

この取扱説明書の内容は、予告なしに変わることがあります。
印刷による制限のため、この取扱説明書の図が、実際の表示と異なる場合があります。
この時計によって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。
この取扱説明書を製造者の許可なくして変更・複製することを禁じます。

本製品、ならびにアフターサービスなどにつきましてご不明なことがございましたら、製品本体の裏面または底面に表示してあります製品番号(品番)をご確認のうえ、セイコークロック(株)お客様センターにお問い合わせください。

(例: AM000、PW000、K0000など)

フリーダイヤル

お客様センター ☎ 0120-315-474

<http://www.seiko-clock.co.jp>

発売元

セイコークロック株式会社

説明書番号 **FSQ-078K**

製品の特長

- 世界4ヶ国の電波(日本40kHz/60kHz、アメリカ、ドイツ、イギリス)を受信して現在時刻を表示する、電波修正機能つき。
- 29のタイムゾーンからローカル時刻を選べるワールドタイム機能つき。
- 2チャンネルアラームつき。
- 温度・湿度表示つき。
- 電波を受信できない場合でも、クオーツ時計としてお使いいただけます。

電波クロックについて

■電波時計／電波修正機能とは

正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。標準電波の時刻情報はおよそ10万年に1秒の誤差という超高精度を保つ『原子時計』によるものです。

■ご注意

- 電波障害等により、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示する場合があります。また使用場所・電波状況によっては受信できない事があります。このような時は、場所を変えてお使いください。
- 電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で時計します。

■使用場所について

本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際はできるだけ、電波を受けやすい窓際などにおいてください。次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。

- ビルの中、ビルの谷間、地下。
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
- テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器の近く。
- 工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害の起きる所。
- 乗り物の中(自動車、電車、飛行機など)。
- その他電波ノイズを発生させるものの近く。
- スチール机等の金属製の家具の上や近く。



保証・アフターサービス

- この時計はメーカー保証です。
保証の内容については保証書をご覧ください。尚、保証書は日本国内のみ有効です。
また、アフターサービスも海外ではできません。
- 保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、お買い上げ店がお預かりし、メーカーが無料で修理または同等品と交換いたします。必ず販売店名捺印の保証書を添えてご依頼ください。
- 保証期間中でも無料保証の対象とならない修理品および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- この時計の修理部品は7年間保有しています。この期間は原則として修理が可能です。
修理用部品とは製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。
修理の可能な期間は、ご使用条件により異なります。また修理可能な場合でも元通りの精度にならない場合があります。お買い上げ店とよくご相談ください。
- 修理のとき、部品-その他の付属品は、一部代替部品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。
- 保証期間中・経過後とも、修理品はお客様がお買い上げ店にお持ち込みいただけます。
修理を依頼されるときは、お買い上げ店にご持参ください。
- 保証期間外、もしくは無料修理の対象とならない修理の際は、本体の修理料金のほか、取扱店と修理工場との間の往復運賃、諸掛り費用をお客様にご負担いただきます。代金が標準小売価格を上回る場合があります。

電池について

⚠ 警告

<アルカリ電池について>

- (1) ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。
- (2) 万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合にはきれいな水で洗い流し、眼に入ったときはきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠ 注意

<電池について>

下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと、液もれや破裂などのおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。

- (1) ⊕ ⊖ を正しく入れてください。
- (2) 電池を取り替えるときは、指定の新しい電池とすべて交換してください。
アルカリ電池ではありません。絶対に充電しないでください。
- (4) 電池に直接ハンダ付けしないでください。
- (5) 直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。
- (6) 時計が止まったり、時計を使わないときは、電池をはずしてください。
- (7) 時計に添付の電池は工場出荷時よりつけられていますので、電池寿命は製品仕様表示より短いことがあります。

使用場所・お手入れ方法

■使用場所

つぎのような所では、使わないでください。

- 温度が-10℃(氷点下10度)以下になる所。
- 温度が+50℃(50度)以上になる所や直射日光が当たる所。
例えば、屋外、暖房器具などの熱風や熱が当たる所、そのほか火気に近い所。
- 浴室など湿気の多い所。
- 強い磁気や振動がある所。
- 電波ノイズを発生させるものの近く。
- ビニール系素材の壁や敷物等の上。

壁や敷物および時計が汚れたり、傷んだりすることがあります。

■お手入れ方法

日常の手入れの仕方

- 枠をふくときは、湿ったやわらかい布でふいてください。
- よこがけがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を少量、やわらかい布につけてふき、ふいた後で乾かしてください。
- ペンジン、シンナー、アルコール、ミガキ粉、各種ブラシなどは使わないでください。
- 殺虫剤、ハスプレーなどもかからないようにしてください。

液晶パネルについて

⚠ 注意

液晶パネルが破損した場合、ガラスおよび中の液晶には十分に注意してください。
万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。

- 皮膚に付着した場合は、付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- 目に入った場合は、きれいな水でよく洗い流し、最低15分間洗浄した後、直ちに医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合は、きれいな水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出した後、直ちに医師の診断を受けてください。

- 見る方向によって表示が薄くなったり、ムラになったりすることがあります。
- 温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなることがあります。
- 温度が高くなると液晶パネル面が黒くなり、判読できなくなることがあります。
- 液晶パネル面に触れないでください。表示が薄くなったりムラになることがあります。しばらく放置しますと元に戻ります。

温度・湿度表示について

- 温度 精度: ±2℃(0℃~+40℃の範囲)
- 湿度 精度: ±8%(25℃のとき)
- センサーが時計内部にあるため、時計周囲の温度・湿度が変化しても表示が変わるまで時間がかかります。
- 温度が以下の状態になったときの表示
 - ・ 温度 -40℃より低い: 「LL」 +70℃より高い: 「HHH」
 - ・ 湿度 20%より低い: 「LL」 90%より高い: 「HH」

ただし、湿度表示は0℃~+69.9℃以外の状態では「—」と表示されます。

故障かなと思ったときには

製品が正常に作動しないときは、修理を依頼する前に、この表を参考にお調べください。
なお、新しい電池と交換される際は、電池の使用推奨期限をご確認のうえご使用ください。

症 状	考えられる原因	処 置
表示が出ない	・ 電池が入っていない。 ・ 電池の容量が少なくなっている。	・ 指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、「リセットボタン」を押してください。
時刻またはカレンダーの表示が欠けている	・ 電池が正しい向きに入っていない。 ・ きちんとリセットされていない。 ・ 電池の容量が少なくなっている。	・ 電池を正しく入れ直して、確実に「リセットボタン」を押してください。 ・ 指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、「リセットボタン」を押してください。
時刻またはカレンダーが合っていない	・ きちんとリセットされていない。 ・ 静電気等による誤動作。 ・ 受信に成功していない。	・ 電池を入れ直してから確実に「リセットボタン」を押してください。 ・ 裏記「■電波を受信できなかった場合」をお読みになり、再度受信させてください。 ・ 「受信ON/OFFスイッチ」をONにしてください。
アラームの音が鳴らない	・ 電池の容量が少なくなっている。 ・ きちんとリセットされていない。 ・ 「アラームスイッチ」がOFFになっている。 ・ 静電気等による誤動作。	・ 指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、「リセットボタン」を押してください。 ・ 電池を入れ直してから確実に「リセットボタン」を押してください。 ・ 「アラームスイッチ」をONにしてください。

製品仕様

- 精 度: 平均月差±30秒(気温5℃から35℃で使用し、電波受信による時刻修正を行わない場合)
- 表示 精度: ±1秒(電波受信による時刻修正を行った直後)
- 使用温度範囲: -10℃~+50℃ ただし、表示判読可能温度範囲 0℃~+40℃
- アラーム: 電子音、約2分間オートストップ
- カレンダー: 2000年1月1日~2069年12月31日のフルオートカレンダー
月、うるう年とも修正不要。
- 表示: 日付(月/日、曜日)、午前/午後表示による12時間制または24時間制表示
周囲温度(℃)、湿度(%)
- 使用電池: 単3アルカリ乾電池(JIS規格 LR6)
- 電池寿命: 約1年(2つのアラームをそれぞれ1日30秒間使用した場合)
- 電池切れ予告機能: 電池交換マークが点滅して、電池交換時期をお知らせします。
- 電波受信機能: 自動受信(6回/日) 次回の受信までクオーツの精度で動いています。
手動受信
- 受信電波、周波数: 日本 - JJY 40kHz/60kHz アメリカ - WWVB 60kHz
ドイツ - DCF 77.5kHz イギリス - MSF 60kHz

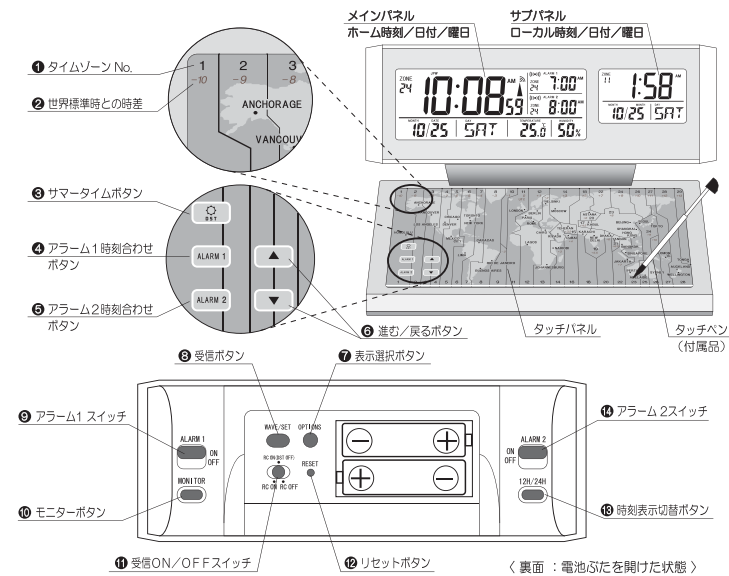
※ 上記の製品仕様は、改良のため予告なく変更する場合があります。

【タイムゾーンと主な都市一覧】

タイムゾーン	時差	主な都市	時間マーク	タイムゾーン	時差	主な都市	時間マーク
1	-10	HONOLULU (Hawaiian time)	USA	16	4	DUBAI	
2	-9	ANCHORAGE (Anchorage time)		17	4.5	KABUL	
3	-8	LOS ANGELES (Pacific time)		18	5	KARACHI	
4	-7	DENVER (Mountain time)		19	5.5	NEW DELHI	
5	-6	CHICAGO (Central time)		20	6	DHAKA	
6	-5	NEW YORK (Eastern time)		21	6.5	YANGON	
7	-4	CARACAS		22	7	BANGKOK, JAKARTA	
8	-3	RIO DE JANEIRO		23	8	HONG KONG, SHANGHAI, SINGAPORE	JPE or JPW
9	-2	(FERNANDO NOROHA)		24	9	TOKYO, SEOUL	
10	-1	(PRAIA)		25	9.5	ADELAIDE	
11	0	LONDON		26	10	SYDNEY	
12	1	BERLIN, PARIS, ROME		27	11	SOLOMON IS.	
13	2	HELSINKI, CAIRO		28	12	AUCKLAND, WELLINGTON	
14	3	MOSCOW, RIYADH, NAIROBI		29	13	TONGA	
15	3.5	TEHRAN					

※ 受信マークのある都市でも送信局から遠い場合は受信できません。
※ 各地域の時差およびサマータイムは、国または地域の都合により変更される場合があります。

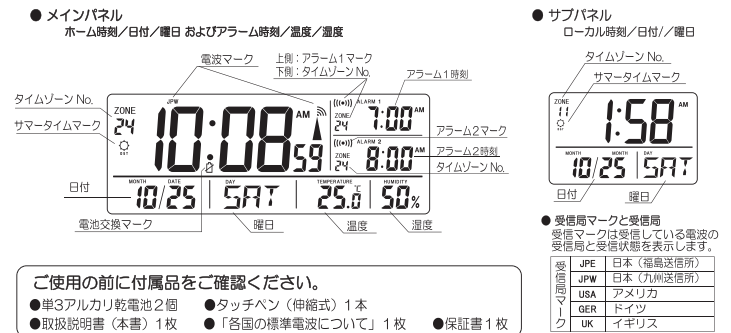
ご使用方法



■各部の名称

- タイムゾーンNo.**
 - ZONE NO.で世界共通の標準時を使う地域を時間帯（地域標準時）別に表しています。
- 世界標準時との時差**
 - 原子時計が刻む国際原子時をもとに天文学的に決められるグリニッジ標準時との差が1秒未満となるよう、国際協定により人工的に維持されている世界共通の標準時（世界標準時）との時差を示しています。
- サマータイムボタン**
 - サマータイムを設定するときに使用します。
- アラーム1時刻合わせボタン (ALARM 1)**
 - アラーム1の時刻を合わせるときに使用します。
- アラーム2時刻合わせボタン (ALARM 2)**
 - アラーム2の時刻を合わせるときに使用します。
- 進む/戻るボタン (▲▼)**
 - アラーム時刻または現在時刻や日付を合わせるときに使用します。
- 表示選択ボタン (OPTIONS)**
 - 日付、曜日、温度の表示方法を選択するときに使用します。
- 受信ボタン (WAVE)**
 - 電波の受信をするときに使用します。
 - 手動で現在時刻や日付を合わせるときに使用します。
- アラーム1スイッチ (ALARM 1)**
 - アラーム1のON/OFFを切り替えができます。
- モニターボタン (MONITOR)**
 - 押し続けている間、時刻に関係なくアラームが鳴り続けます。
- 受信ON/OFFスイッチ (RC ON/OFF)**
 - 受信のON/OFFを切り替えるときに使用します。
- リセットボタン (RESET)**
 - 電池交換後は必ず押してください。
- 時刻表示切替ボタン (12H/24H)**
 - 12時間制または24時間制表示を切り替えるときに使用します。
- アラーム2スイッチ (ALARM 2)**
 - アラーム2のON/OFFを切り替えができます。

■表示



■ご使用方法

- ご使用前に表示部の透明シールをゆっくりはがしてください。
- 電池を入れてください (単3アルカリ電池 2個)**
 - 裏面の②部に指をかけ、手前に引いて電池ぶたを開けてください。
 - ⊖をまちがえないように注意してください。
 - リセットボタンを先端の細いもので押してください。**
 - 時刻「12:00 AM」となって電波の受信を開始し、最長約20分間で受信を完了します。受信に成功すると受信マーク(⌚)：受信状態マーク、JPE など：受信局マークが表示され正しい時刻、日付を表示します。
 - 受信中は、受信マーク(⌚)：受信状態マーク、JPE など：受信局マークが受信状態に応じて変化します。
 - 受信できなかった場合、受信マーク(⌚)：受信状態マーク、JPE など：受信局マークは表示されず、時刻、日付の修正は行われません。
 - 右記「■電波を受信できなかった場合」にしたがって場所を変えて再度受信させるか、手動操作で時刻、日付を合わせてください。
 - 使用場所の受信状態が良くない場合は、数分で受信を中断することがあります。
 - 場合により、[時：分] [秒]のみ、正しく時刻を表示することがあります。
 - その後受信に成功すると、[月/日] [曜日] も正しく表示されます。
 - 注) 電池交換後は、必ず「⑫リセットボタン」を押してください。
 - ホーム時刻 (メインパネル) を設定する**
 - 「⑩受信ボタン」をメインパネルのタイムゾーンNo. が点滅するまで押し続けてください。
 - タッチパネルの地図上に付属のタッチペンなどで設定するゾーンを押してください。
 - メインパネルのタイムゾーンNo. が選択したタイムゾーンNo. を表示します。
 - 約1分間押されない状態が続くと、自動的に都市を確定し「通常表示」に切り替わります。
 - 「⑩受信ボタン」を4回押し、「通常表示」に切り替えてください。
 - ④裏面「タイムゾーンと主な都市一覧」より、受信局マークのあるタイムゾーンを選択したときは「⑩受信ボタン」を押してください。電波の受信を開始します。
 - 受信局マークのないタイムゾーンを選択したときは、右記「■手動で時刻、日付を合わせる場合」にしたがって、手動操作で時刻、日付を合わせてください。
 - リセット後はタイムゾーンNo. 24 (東京) が設定されています。
 - ローカル時刻 (サブパネル) を設定するーワールドタイム機能ー**
 - タッチパネルの地図上に付属のタッチペンなどで設定するゾーンを押してください。
 - サブパネルのタイムゾーンNo. が選択したタイムゾーンNo. を表示します。
 - ②サマータイムをセットする場合は、「⑩サマータイムボタン」を押してください。サマータイムマーク(☀)が表示されます。
 - サマータイムを解除する場合は、「⑩サマータイムボタン」を押してください。

5. アラームを鳴らすには

- 【アラーム1を鳴らす】
- 「④アラーム1時刻合わせボタン」を押してください。アラーム1時刻が点滅し、アラーム1の時刻合わせの状態になります。
 - タッチパネルの地図上に付属のタッチペンなどで選択してください。
 - 裏面の左側「⑩アラーム1スイッチ」がONのとき、選択したゾーンの時刻になるとアラームが鳴ります。
 - 「⑩進むボタン/戻るボタン」を押してアラーム1時刻を合わせてください。
 - アラーム時刻合わせの状態でも再度「⑩進むボタン/戻るボタン」を押し続けると早送りします。
 - 約1分間押されない状態が続くと、自動的にアラーム時刻が確定します。
 - アラーム時刻合わせが終了しましたら、「④アラーム1時刻合わせボタン」を押して、「通常表示」に切り替えてください。
 - 「⑩アラーム1スイッチ」をONにしてください。アラーム1マーク(⌚)が表示されます。
- 【アラーム2を鳴らす】
- 「⑥アラーム2時刻合わせボタン」を押してください。アラーム2時刻が点滅し、アラーム2の時刻合わせの状態になります。
 - タッチパネルの地図上に付属のタッチペンなどで選択してください。
 - 裏面の右側「⑩アラーム2スイッチ」がONのとき、選択したゾーンの時刻になるとアラームが鳴ります。
 - 「⑩進むボタン/戻るボタン」を押してアラーム2時刻を合わせてください。
 - アラーム時刻合わせの状態でも再度「⑩進むボタン/戻るボタン」を押し続けると早送りします。
 - 約1分間押されない状態が続くと、自動的にアラーム時刻が確定します。
 - アラーム時刻合わせが終了しましたら、「⑥アラーム2時刻合わせボタン」を押して、「通常表示」に切り替えてください。
 - 「⑩アラーム2スイッチ」をONにしてください。アラーム2マーク(⌚)が表示されます。

6. アラームを止めるには

- アラーム1が鳴っているときは「⑩アラーム1スイッチ」をOFFにし、アラーム2が鳴っているときは「⑩アラーム2スイッチ」をOFFにして止めます。
- アラームマーク(⌚)は表示されません。

その他の機能

■受信局と自動受信について

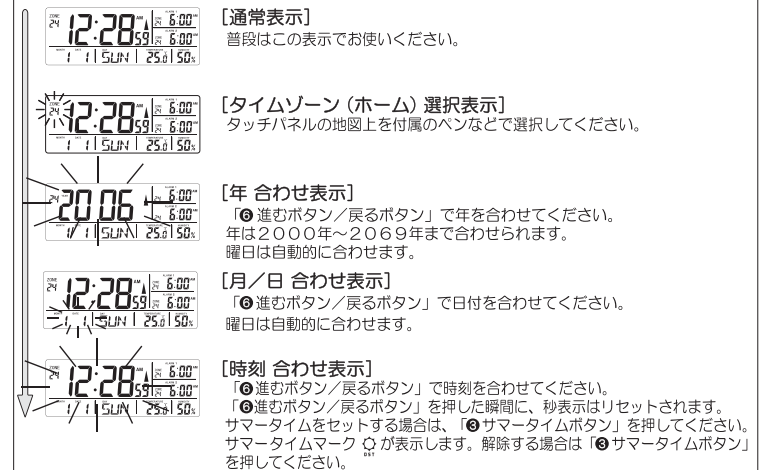
- この時計は、ホーム時刻の都市に応じて、電波の受信局を自動的に選択します。
- 都市と受信局の関係は、裏面「タイムゾーンと主な都市一覧」を参照してください。
- 受信局のある都市を設定した場合は、毎日6回自動で電波受信を行います。
 - 受信に成功すると現在表示している時刻、日付を修正します。
 - リセット後の初期設定は、JPE または JPW が設定されています。

■電波を受信できなかった場合

- 電波を手動で受信して時刻、日付を合わせてください
- 「⑩受信ボタン」を押してください。電波の受信を開始します。
- 受信状態については、左記「■表示」をご覧ください。
 - うまく受信できない場合は本体の向きや置き場所をかえて、もう一度受信させてください。
 - 使用中に受信マーク(⌚)：受信状態マーク、JPE など：受信局マークが表示されない場合は、使用場所の受信状態が良くないことが考えられます。
 - 詳しくは裏面「電波クロックについて」をご覧ください。
- また、夜間は昼間にくらべて受信状態が良くなりますので、昼間に受信できなかった場合でも翌日までに自動で受信できる場合があります。

■手動で時刻、日付を合わせる場合

- 電波を受信できない場合や受信局の無い都市の時刻を合わせる場合は、手動で時刻、日付を合わせます。
- 「⑩受信ボタン」をメインパネルのタイムゾーンNo. が点滅するまで(約2秒間)押し続けてください。
 - 「⑩受信ボタン」を押すごとに、下図のように順に表示が点滅します。
 - 「⑩進むボタン/戻るボタン」で都市や日付、時刻を合わせてください。
 - 「⑩進むボタン/戻るボタン」を押し続けている間は早送りします。
 - 約1分以上「⑩進むボタン/戻るボタン」が押されなかった場合は、自動的に「通常表示」に切り替わります。時刻や日付は「通常表示」に切り替わる直前の表示です。



- ④時刻合わせ終了しましたら、「⑩受信ボタン」を押して「通常表示」に切り替えてください。
- 表示方法の選択について
- 「⑦表示選択ボタン」と「⑩進むボタン/戻るボタン」で、温度、日付、曜日の表示方法を選択することができます。
- 「⑦表示選択ボタン」を押して選択をしたい表示を点滅させてください。
 - 「⑩進むボタン/戻るボタン」を押して、表示方法を選択してください。
- 温度：単位を以下の2種類から選べます。
- ℃：摂氏 F：華氏
- 日付：順番を、月/日 と 日/月 から選べます。
- 曜日：表示を以下の5種類から選べます。
- E N：英語 JEL：ドイツ語 FFR：フランス語 ITA：イタリア語 ESP：スペイン語
- ③選択が終了しましたら、「⑦表示選択ボタン」を押して点滅を解除してください。

■電池切れ予告機能について

- この時計には電池切れ予告機能がついています。
- 電池の残量が少なくなると、電池交換マーク(⌚)が点滅し、電池交換時期がきたことをお知らせします。新しい電池に交換してください。

■試し鳴らしについて

- 「⑩モニターボタン」を押し続けている間、時刻に関係なくアラームが鳴り続けます。
- 受信を止めるには この時計には受信を止める機能があります。
- (誤受信の防止や設定時刻をずらすに使用しないに使用し、誤受信に使用しないでください。)
- 電池ぶたを開けてください。
 - 「⑩受信ON/OFFスイッチ」をRC OFFの位置に合わせてください。
 - 受信マーク(⌚)が表示されません
 - この機能を解除するには、「⑩受信ON/OFFスイッチ」をRC ONの位置に合わせてください。
- ※ 海外の受信局 (USA、GER、UK) を受信できる地域で使用する際、受信時のサマータイム情報を利用しない場合は、「⑩受信ON/OFFスイッチ」をRC ON (DST OFF)の位置に合わせてください。